



謹賀新年



連合山形のゆるぎない団結で、2022春季生活闘争、 第26回参議院議員選挙闘争に勝利しよう

連合山形会長 船山 整

2022新年おめでとうございます。組合員の皆様にとってよい年になりますようご祈念申し上げます。昨年11月10日の連合山形第34回定期大会で、小口裕之前会長に代わり、会長に就任いたしました船山整です。前会長同様よろしくお願いたします。

2021年は、新型コロナ感染拡大により、地域経済や、働く者の生活や雇用に大きな影響がもたらされた1年でした。連合山形は、国、県などの行政機関や経営者団体等に対して、働く者の生活や雇用に維持改善させるため、様々な取り組みについて要請行動等を行って来ました。また、各種支援金の給付や、感染防止の切り札と言われたワクチン接種にかかるワクチンの安定供給や接種体制の充実など、関係する構成組織等と連携した取り組みを進めてきました。

感染は、収束傾向を示し、徐々に人流も戻りつつあり、経済活動にも好転の兆しが見られています。しかし、新たなウイルスによる感染拡大の「第6波」も懸念される状況にもあります。今後も、各構成組織や、地域協議会とも連携しながら、働く者の実態を踏まえた取り組みを継続していきたいと考えています。

また、昨年、1月の県知事選挙、2021春季生活闘争、10月の衆議院解散総選挙、各中間自治体選挙など、多くの闘いに結集いただきました。政権選択選挙として行われた衆議院解散総選挙では、県内各選挙区における自民党議席独占の状況を崩すことはできず、全国状況においても、自民党単独での絶対安定多数を許す結果となりましたが、各構成組織、地域協議会における組合員の皆様のご奮闘に感謝申し上げます。

今年は、7月に参議院議員選挙が実施されます。衆議院解散総選挙の総括も踏まえながら、山形選挙区においては、連合山形推薦候補者、比例区においては、各構成組織（産別）の組織内候補者等の勝利に向け、連合山形の総力を結集し、たたかいて進めていきたいと思います。また、2022春季生活闘争では、賃上げの流れを途切れさせることなく、4%の賃上げ要求を掲げる連合本部方針を踏まえ、各構成組織が連携を深め、取り組みを前進させていきたいと思います。組織拡大や各種労働相談などの取り組みも強化し、働く者に寄り添う「いつもそばにいる存在」としての連合運動を強化していきます。一方、帳簿外口座問題については、昨年末に調査委員会を立ち上げました。組合員の皆さんの理解が得られるよう対応していきたいと思っております。

結びに、連合山形のゆるぎない団結のもと、構成組織、地域協議会との連携を一層深め、その先頭で頑張る決意を申し上げ、新年のごあいさつといたします。ともに頑張りましょう。

2022新春旗びらき

1月5日、連合山形・連合山形地域協議会「2022新春旗びらき」を大手門パルズにて開催しました。昨年はWEBで開催しましたが、今年は構成組織代表者など少人数で開催し、連合運動の前進や参院選必勝に向けた取り組みなどを誓い合いました。



安心社会へ 新たなチャレンジ
～すべての働く仲間とともに「必ずそばにいる存在」へ～

連合山形「第34回定期大会」を開催

新会長に船山氏を選出 新たな体制がスタート



11月10日、大手門パルズで「連合山形第34回定期大会」を開催しました。代表挨拶で小口会長（当時）は、前日の会計問題への新聞報道に触れ「慎重に調査・確認を進め、不正は無かったと理解している。大変ご心配をお掛けした連合山形に結集する全ての皆様に深くお詫びする」と陳謝しました。そして、この間の



小口前会長

活動を振り返ったうえで「大会スローガン『安心社会へ新たなチャレンジ～すべての働く仲間とともに「必ずそばにいる存在」へ～』のもと、組織強化やすべての働く者のディーセントワーク実現、ジェンダー平等など多様性を認め合う包摂社会の実現などの取り組みを推進していく」と述べました。

大会では、第1号議案「2022-2023年度活動方針」について、2人の代議員から新型コロナワクチン接種に関する政策・制度要求、参議院選挙に向けた衆院選の総括、労働相談を通じた未組織労働者への支援について発言がありました。



安食代議員

また、第3号議案「役員選出」では、任期満了に伴い、会長に船山整氏（自治労）が新任、会長代行に設楽正氏（情報労連）が再任、副会長に丹野忍氏（情報労連）、柿崎隆英氏（電機連合）、齋藤洋次氏（交通労連）、蒲原清天氏（UAゼンセン）の4氏が再任、遠藤学（県教組）、納富聡氏（JAM）、齋藤和喜氏（電力総連）、渡部貴之氏（自治労）、西部政行氏（JP労組）の5氏が新任、事務局長に館内悟氏（電力総連）が再任しました。また、水戸吉一元会長と小口裕之前会長は顧問に就任しました。



佐藤特別代議員

新役員を代表し船山会長は、「連合山形の取り組むべき課題は数多くある。各構成組織の課題も含めながら、民と官が連携して、すべての働く仲間の処遇改善等に向け取り組んでいきたい」と抱負を述べ、全体の協力を呼びかけました。



船山新会長

2022-2023年度活動方針(大項目)

※全文はホームページに掲載

- I. すべての働く仲間をまもり、つなぐための集約的労使関係の追求と、社会に広がりのある運動の推進
- II. 安心社会とディーセント・ワークをまもり、創り出す運動の推進
- III. ジェンダー平等をはじめとして、一人ひとりが尊重された「真の多様性」が根付く職場・社会の実現
- IV. 社会連帯を通じた平和、人権、社会貢献への取り組みと次世代への継承
- V. 健全な議会制民主主義と政策実現に向けた政治活動の推進
- VI. 連合と関係する組織との相乗効果を発揮し得る人財の確保・育成と労働教育の推進
- VII. 運動を支える基盤強化

連合山形女性委員会、青年委員会 「総会」「学習会」を開催

女性委員会

男女平等をはじめとして、一人ひとりが尊重された

『真の多様性』が根付く職場・社会を実現しよう！



学習会講師の武田さん

女性委員会は、10月26日に「第33回総会」を大手門パルズで開催し、2022-2023活動方針などを決定しました。役員改選では、委員長の木口久仁子氏（J P 労組）が退任し、新たに結城礼佳氏（県教組）を選出しました。結城委員長は「『ジェンダー平等推進計画フェーズ1』の取り組みに果敢にチャレンジしていこう」と挨拶しました。

総会終了後には「学習会」を開催し、(株)ジョインの武田靖子専務取締役CH Oより「2021パラダイムシフト マインドリセット～新しい時代の自分へ～」と題した講演をいただきました。武田氏は「コロナ禍のなか、これまでの考え方の大転換と捉え、時代に合わせて、変えるものと変えない

ものを考えて、考え方をリセットすることが大事だ」と強調しました。

役職	氏名	構成組織
委員長	結城礼佳	県教組
副委員長	岩城京子	電機連合
事務局長	渡邊順子	J A M
事務局次長	高橋綾乃	U A ゼンセン
//	小川実己	情報労連
//	大場智佳	電力総連
//	紺野美穂	交通労連
//	奥山明子	自治労
//	沼沢結花	J P 労組



女性委員会総会の様子

青年委員会

青年委員会は、10月27日に「第32回総会」を大手門パルズで開催しました。2022-2023活動方針や、委員長の阿部一樹氏（労金労組）が退任し、新たに矢作仁氏（情報労連）を選出する役員改選を決定しました。

総会終了後には「2021青年学習会」を開催し、「気候変動対策への取り組みについて」と題して山形環境科学研究センターの横山秀典環境企画部長が講演しました。参加者から「近年、気候変動問題がますます身近になり、環境テーマは重要な話題で良いと思った」などの感想が寄せられました。

役職	氏名	構成組織
委員長	矢作仁	情報労連
副委員長	上野航太郎	自治労
//	高橋杜於	県教組
事務局長	後藤健一郎	U A ゼンセン
事務局次長	阿部芳紀	J A M
幹事	堤優大	労金労組
//	太田貴嗣	電力総連
//	阿部拓海	J P 労組
//	菊地宏也	電機連合
//	横尾樹	交通労連
//	(選考中)	森林労連



青年委員会団結ガンバ一回

生き生きと安心して暮らせる社会をつくろう！

山形県退職者連合「第29回定期総会」を開催

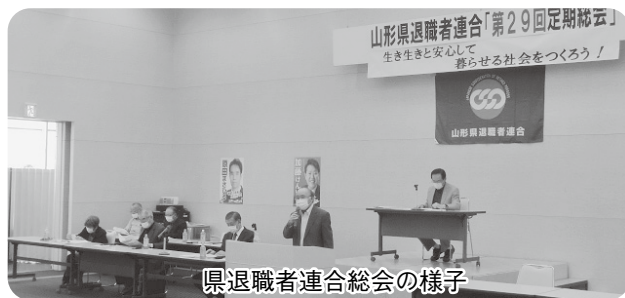
山形県退職者連合は「第29回定時総会」を10月21日に大手門で開催しました。

はじめに、三澤裕会長が「昨年度はコロナ禍で活動が制限される中で、県知事選挙や最賃大幅引上げを求める署名活動、組織拡大などの活動を行うことができた。皆様のご努力とご協力に敬意を表します」と活動を振り返り、「来たる2022年度は山形県退職者連合結成30周年を迎える。会員の皆様の生活向上に向け、多くの課題を前進させていきたい」と挨拶しました。

総会では、2022年度の活動方針、役員体制など全ての議案が承認されました。また、「生き生きと安心して暮らせる社会をつくろう！」をメインスローガンに、4つのサブスローガンを採択しました。



挨拶する三澤会長



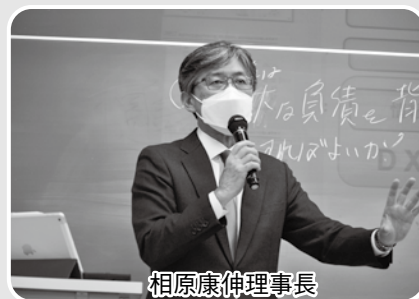
県退職者連合総会の様子

山形大学「連合山形寄付講座 ～労働と生活～」

今年度の講座が始まりました

10年目の取り組みとなる山形大学人文社会科学部「連合山形寄付講座 ～労働と生活～」が10月4日から始まりました。連合山形役員らが講師を務め、労働組合が取り組む「賃金・処遇改善」「ワークルール確立」「ワーク・ライフ・バランスの実現」「政策制度要求」などをテーマに、2月までに全15回の講義を行います。

12月20日には、公益社団法人教育文化協会の相原康伸理事長（前連合事務局長）が講師を務め、労働者を取り巻く現状や課題から、労働組合の果たすべき役割について講義しました。



相原康伸理事長

必ずチェックしましょう！

山形県「特定(産業別)最低賃金」が改正されました。

特定(産業別)最低賃金 【発行日：2021年12月25日】

ポンプ・圧縮機器、一般産業用機械・装置、他に分類されないはん用機械・装置、化学機械・同装置、真空装置・真空機器製造業	時間額 888円	26円 UP
電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通院機械器具製造業	時間額 872円	26円 UP
自動車・同附属品製造業	時間額 888円	27円 UP
自動車整備業 (自動車分解整備の業務に従事する者に限る)	時間額 892円	27円 UP



すべての労働者に適用される山形県「地域別最低賃金」は

29円 UP 822円 (2021年10月2日発行) です。

次回はあなたも挑戦してみませんか？

ワークルール検定2021・秋 の開催

11月28日に「ワークルール検定2021・秋」の検定試験が全国30会場で一斉に開催され、山形会場のヤマコーホール（山形市）では、初級検定に27人が受検しました。

本検定は、社会全体でワークルールの知識・認識を高めることにより、「働きやすい職場」の実現をめざすため、2013年から実施され、これまでに全国で1万人以上が受検しています。

主催は（一社）日本ワークルール検定協会〔構成組織＝NPO法人職場の権利教育ネットワーク、連合、中央労福協など〕。後援は厚生労働省、（公財）日本生産性本部、山形県。運営は山形運営委員会として連合山形が担いました。

山形での次回検定は2022年秋です。初級合格者は中級検定の受検が可能です。皆さんもまずは初級検定から挑戦してみたいはいかがでしょうか！

初級検定の問題を解いてみよう！

Q. 労働基準法が適用される「労働者」をすべて選びなさい。

- ① 正社員 ② パートタイマー
- ③ アルバイト ④ 派遣労働者

A. 正解と解説は「ワークルール検定ホームページ(<https://workrule-kentei.jp>)」へ。

参照元：ワークルール検定ホームページ



ワークルール検定会場の様子

連合全国一斉集中 労働相談ホットライン

STOP雇用不安！
みんなの力で職場を
改善しませんか

2022年2月24日(木)～25日(金)
10:00～19:00



解雇・雇止め

体調不良で数日休んだら、
次回の契約は更新しないと
言われた。

派遣先がない!?

新しい派遣先を探すと派遣元に言わ
れたが、何週間待っても連絡がない。
数日でも無職になると死活問題なの
で困る。

シフトの削減

「お客さんが少ないから勤務日を減らす
ね」って給料も減るんですね？ アルバ
イト代で学費を支払ってるんですけど…。

同一労働同一賃金

契約社員には正社員にある休暇や
手当などが無い…この待遇差つ
ておかしくない？

パワハラ・退職勧奨!?

いつも威圧的な上司。「言っていること
わかる?」「ムカつくから辞めてもらえ
る?」と言ったり机をたたいたり…心がもう限界。
これってパワハラ?退職するしかない?

労働組合をつくって、職場を改善しませんか？ 職場でのトラブルや悩み、まずは連合にご相談を！

連合 全国一斉集中 労働相談ホットライン

2022年2月24日(木)～25日(金) 10:00～19:00

フリーダイヤル いごうよ れんごうに



0120-154-052

相談 無料 秘密 厳守 携帯・スマホ OK

※上記期間以外も受付しています。

【連合なんでも労働相談ダイヤル 0120-154-052】

(フリーダイヤルは、集中相談期間中は連合山形につながりますが、それ以外の日は連合労働相談センターでの対応となります)

連合山形 山形市木の実町12-37 TEL 023-625-0555

連合山形酒田飽海地域協議会

酒田市緑町19-10労働センター内

TEL 0234-24-5505

連合山形鶴岡田川地域協議会

鶴岡市泉町6-57鶴岡市労働センター内

TEL 0235-25-8605

連合山形新庄最上地域協議会

新庄市大手町2-60 大手会館内

TEL 0233-23-1515

連合山形北西村山地域協議会

村山市榑岡新町2丁目12-7 しらかがビル2F

TEL 0237-53-2005

連合山形地域協議会

山形市木の実町12-37 大手門パレス内

TEL 023-622-0551

連合山形置賜地域協議会

米沢市塩井町塩野1-1 勤労者福祉会館2F

TEL 0238-23-0551

公財)山形県勤労者育成教育基金協会

利子補給制度対象商品



ふるさと奨学ローンカード型

卒業後、山形県内に就職・就業すると、利子補給が受けられます！

ご融資 最高
限度額 2,000万円

ご融資 最長
期間 20年

※カードローンのご利用については在学期間を限度とし、最長7年以内となります。



利子補給制度

本ローン対象の生徒・学生が卒業後山形県内に就職または就業した場合は、それ以降の利子に対して最長10年間、元金300万円を限度に、年2.0%が公益財団法人山形県勤労者育成教育基金協会より補給されます。融資金利が年2.0%を下回った場合は、融資金利が利子補給率になります。

公益財団法人

山形県勤労者育成教育基金協会

山形市木の実町12番37号

TEL023-635-0101



※審査の結果、ご融資できないなどご希望に添えない場合がありますので、あらかじめご了承下さい。
※店頭にて説明書をご用意しています。詳しくはお近くの東北ろうきん窓口にお問合せ下さい。

2022年1月1日現在

東北労働金庫 山形県本部

東北ろうきん

検索

TEL 023-632-6220

<https://www.tohoku-rokin.or.jp>

(受付時間：平日午前9時～午後5時)



あなたと家族の
カーライフを守る

マイカー共済

自動車総合補償共済



こくみん共済 NEWS

0621A013



7才の交通安全プロジェクト

未来ある子どもたちを、交通事故から守りたい。

小学生になり、行動範囲がぐっと広がる7才。
他の年齢に比べて特出して交通事故に遭いやすいというデータがあります。
こくみん共済 coop は「7才の交通安全プロジェクト」として事故を減らすための様々な活動に取り組んでいます。

マイカー共済のお見積もり1件につき、
児童館などに横断旗を1本寄贈しています。

対象期間 2021年6月1日(火)～2022年5月31日(火)

7才の交通安全プロジェクト

検索



何でもお気軽に
ご相談ください！

あなたの街の
相談窓口！

共済ショップ

お近くの共済ショップはWEBから 共済ショップ

無料

こくみん共済 coop
オンライン相談

ご自宅からお気軽に
補償の相談ができます。

詳細や
ご予約
はコチラ



こくみん共済 山形推進本部 〒990-0827 山形市城南町1-18-22 TEL 023-646-4666

山形県勤労者共済生活協同組合

「こくみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地の共済協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。